

セ ン チ ュ リ ー CENTURY

- 地域を育む人と企業
- 地域で活躍する職人たち
- 暮らしを支える生産者たち
- 人々の心に寄り添う 医療・福祉

- 時代と人をつなぐ スペシャリスト
- 人を、未来を育てる 教育者たち
- Food, Drink, Salon and ... SHOP
- 心のふるさと 社きめぐり

2020.5
VOL.278

■ 巻頭特集

まだ間に合う！ テレワーク導入のススメ

■ cover story

再生可能エネルギーの電力を用いて水素を製造
原発被災地から目指す「水素社会」への転換



特別企画

地域を支える

人



「まずは、大那社長が歩いてこられた道程から伺います。」
この「大那工業」は父が始めた会社で、元々は板金工事業を営んでいました。私は当初はさほど家業への思い入れはなかったのですが、成長するにつれて父の仕事を理解し、その姿勢や技術力を尊敬するように。ただ、自分には適性がないと感じるところもあり、同じ建築でも設計や建物全体に関わる仕事に携わりたくと、建築資材の間屋を経て、建築会社に入社しました。そこからは設計士として現場監督をするといった業務に従事。好きな仕事ですから夜中まで働いても苦にならず、頑張つて良いものを造り、お客様に喜ばれることに大きな喜びを感じることができました。その気持ちは今でも変わりませんね。

「その後、家業の代表に就任された経緯と伺いますと？」
私自身は家業に入るつもりはなく、会社勤めを続けるか独立するか、といったことを考えていたのですが、ある時父から将来の展望について聞かれたんですね。家業には弟が職人として入っており、私は弟が継げば良いと考えていたのですが、父も弟も根っからの職人で、経営は私に、との思いがあったようです。そこで、自分が携わっている業務やノウハウを家業にも取り入れ、好きな仕事を続けられたい、と考えるようになりました。よく兄弟で一緒にやるのは難しいと言いますが、私たち兄弟は職種が違うので、そうした心配もなさそうに思いました。それで家業に入り、外装工事を中心に住宅全般の設計・施工を手掛けるようになったのです。

「仕事の幅が広がったのは、家業にとってプラスだったのではないですか。」
ありがたいことに、当社の歩みと私の経験、双方が上手く作用しました。そもそも板金工事はカラー鉄板を加工して建物の屋根を葺いたり外壁に貼ったりというように、雨風から建物を守る外装部分の重要な仕事です。父や弟の腕の良さもあって、業域が広がっても技術面の心配はありませんでした。加えて、それまで建設会社の下請けとして仕事をしていたのを、私が勤めていた時と同様にエンドユーザー様をお客様にし、地元で催されるリフォーム・住宅イベントに出展したことで、一気に認知度が上昇し、元請けの仕事が中心となったのです。元請けであればお客様と最後まで関わる事ができます。工事が完了して喜ぶお客様の姿を見ることは、何物にも勝るモチベーションとなりました。

「そのモチベーションが、さらに質の高い仕事につながるわけだ。」
ええ。残念なことには、昨今のリフォーム業者さんの中には、工事の効率化に重きを置き、住宅が抱える問題を根源から解決せずに済ませることが少なくありません。対して当社は手間を掛けて古いものを剥がして新しいものを張る張替え工事を全うし、見映えも住宅を守るという点でも最高と言える施工にこだわっているのが自慢です。

「最近ではリフォームや新築の打ち合わせの際、自ら当社の事務所に訪問して下さるお客様も増えてきました。そうしたお客様のために、現在は事務所兼ショールームとなる新事務所を建設する計画を進行中です。いち早く新しい事務所を完成させ、お客様をお迎えする体制を整えたいですね。」
最近ではリフォームや新築の打ち合わせの際、自ら当社の事務所に訪問して下さるお客様も増えてきました。そうしたお客様のために、現在は事務所兼ショールームとなる新事務所を建設する計画を進行中です。いち早く新しい事務所を完成させ、お客様をお迎えする体制を整えたいですね。

「本当にこだわりを持って仕事に取り組んでおられるんですね。感服しました。」
また、当社の職人は技術はもちろん、お客様やご近所の方々が自然と気持ち良くなる挨拶や現場マナーも徹底しており、「モノづくりは、人づくりから」というモットーを受け継いでくれています。今後もそうした誇りある仕事を全うし、微力ながら地域社会の発展に貢献していく所存です。
是非、未永く地域に貢献してまいります。



after the interview
志垣 太郎 (俳優)

「先代である大那社長のお父様は、『いつかはエンドユーザーを相手に仕事したい』との想いを持っていたそう。そのお父様の夢を叶え、何よりの親孝行をされましたね！ また社長の弟さんも職人として現場を力強く牽引し、ご兄弟それぞれが得意分野で力を発揮しておられます。きっとお父様もお二人の活躍を心強く見守っておられることでしょう」



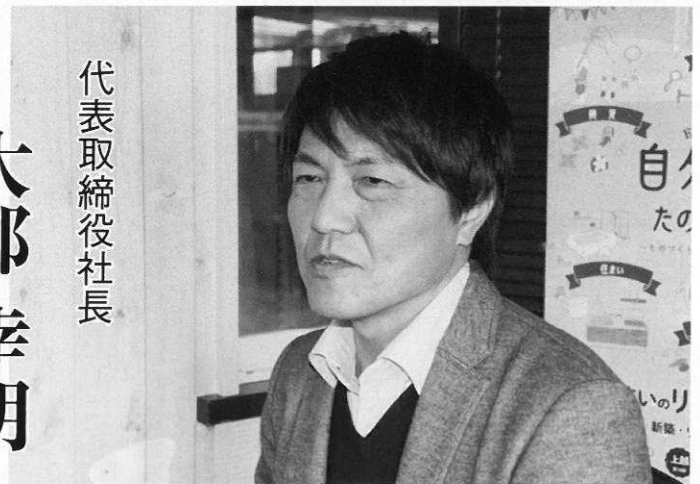
板金工事で培った技術を活かし 上質な工事で人々の笑顔を創る 外装工事のプロフェッショナル

外装工事を中心に、住まいの新築・リフォーム、住宅全般の設計・施工を手掛けている『大那工業』。板金工事をメインに50年にわたり培ってきた技術力、手間がかかっても真にお客様に役立つ工法へのこだわり、そして自社の職人のみで完遂させる気概が光る会社だ。リフォーム・住宅イベントへの出展で知名度も上昇中の同社を、俳優の志垣太郎氏が訪問し、事業を大きく拡大してきた大那社長にお話を伺った。

COMPANY PROFILE

有限会社 大那工業

新潟県新潟市南区白根古川 348-1
URL : <http://oona.co.jp>



代表取締役社長
大那 幸明

中身から家を蘇らせ、綺麗にする——張替え工事の圧倒的な価値

- ▼現在外装工事をメインに手掛ける『大那工業』。長い歴史を持つ同社の一番のこだわりが、見映え、そして住宅を長持ちさせる意味でも最適な「張替え工事」を手間を掛けて全うすることだ。
- ▼張替え工事とは古くなった外壁を剥がし、新しいものに張替える工法で、対して古い外壁にそのまま重ねて張る工法をカバーリング工事という。カバーリング工事は工期短縮やコストが安く済むといった誤った認識を持たれることが多く、カバーリング工事を望むお客様が多い上、業者も7～8割がこちらを選択するそうだ。
- ▼しかし、実は建物は長年雨風にさらされるうち目に見えない漏水が発生し、断熱材の綿や木を腐らせることが多い。張替え工事は壁

の中を見るため、そうした腐った部分を除去し、住宅をメンテナンスできる利点があるのだ。また、一度張替えることで新築同様の外観となり、見映えの点からも張替え工事に軍配が上がるのである。

▼「カバーリングが外見だけ着飾るとしたら、張替えは中から綺麗にしていく。住宅のことを考えるなら、断然張替え工事に価値があります」と大那社長。社長はそうした張替え工事の価値を知ってほしいと、最近では地元で開催されるリフォーム・住宅イベントでセミナーの講師を務め、その中で積極的に発信を行っている。どれだけ手間がかかっても、本当にお客様に役立つ工事を全うする。その職人の矜持が、多くのエンドユーザーに選ばれる所以なのだろう。